

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介するコーナーがグループライフ(仲間との生活)です。

Group Life いよいよウィンタースポーツのシーズン到来です

富士見町地域スポーツクラブ 問 海洋センター内 ☎62-6126 町民センター ☎62-2400



～ 寒さに負けず さあ 出かけましょう! ～



■ 昨年の「スノーシュー体験」

入笠山山頂からの360度大パノラマ
一度体験ください・・・
大感激です



■ 10月26日(金)「すくすくスポーツデー」
金井仁美先生による鉄棒教室
大好評でした
あそびの広場開放中。自由に飛びまわろう!
※毎月第2・第4金曜日 夜7時～8時30分
町民センターにて開催中



■ 10月28日(日) 元オリンピック競歩選手
「酒井浩文氏によるウォーキング教室」開催
紅葉を楽しみ、海洋センター「ウォーキング
コース」で歩き方の基礎を学びました



Group Life 「記憶にあり続ける」文化祭を目指して 富士見高校

第71回しらかば祭が「盛り上がり！笑い合え！巻き起こせ！盛笑気流！」をテーマに10月13日(土)・14日(日)に行われました。

「記憶にあり続ける」文化祭を目指して作り上げた「全校製作の写真モザイクアート」は、生徒の写真を2,300枚以上使った力作です。たくさんの苦勞を乗り越えて作り上げた作品に、全校生徒が「ひとつ」になった感動を味わいました。また、しらかば祭は屋台や販売などにより開かれた文化祭として地域に定着しています。

後輩たちには、今後さらにすばらしい文化祭にしてほしいと願っています。(篠原明子・小林水澄)



▲盛り上がった「ステージ発表」

◀力を出し切った「腕相撲大会」



2,300枚以上の写真を使用▲

Group life 「第30回」の節目に向かって ～私たちのオッコー祭り～

商工会青年部

早いもので、平成24年も残すところ一ヶ月となりました。今年4月から、オッコー祭り運営側からの実情や、課題点などを皆さんにお伝えしてきましたが、第29回の祭りもおかげ様で無事に終了することができ、来年の『第30回』という節目に向けて、商工会青年部は動き出しています。

部員の減少などの理由により、数年後には今年の規模でお祭りを行う事は大変困難になる、という事は前回にもお伝えしました。例年並みに新入部員が入ってきたとしても、5～6年後には部員数が半分ほどになってしまいます。（現在32名）このままでは「祭りの縮小」は、やむを得ないでしょう。夏祭りのメインは夜の踊りですが、昼間のステージ・境イベント・ドッチボールなども含めて「富士見のオッコー祭り」と考える私たちにとって、縮小は本意ではありません。まして、毎年それぞれのイベントを楽しみに来てくれる子供たちの事を考えると、簡単にはあきらめられないのです。

現在、私たちはオッコー祭りについての検討会議を開いています。この会議で、祭りの運営方法そのものを一から見直していき、来年の「第30回」という節目の年を、より盛大に行う方法を模索中です。そのためには、青年部のみならず、商工会・町・そして一番は「富士見町民の皆さん」のご協力が必要不可欠です。

富士見の「宝」オッコー祭りをより良くするために皆さん、よろしくお祈りします。



今年のオッコー祭り

Group life あなたの「野菜」は足りてるの？

富士見町栄養士会



▲栄養士会による食育講座の様子



▲生活展で健康メニューを紹介

栄養士会では今年9月、子育て中の保護者を対象に「食」への理解を深め、家庭において望ましい食生活ができるよう、食育講座「あなたの野菜は足りてるの？」を開催しました。

「食事バランスガイド」を活用し、「日本型食生活のすすめ」の中では「コマ」のイラストを使って、「コマ」を上手に廻すには「何を、どれだけ」摂取したら良いかを説明しました。また地域で採れる食材を使って、「鯖の野菜あんかけ」や「かぼちゃのみるく煮」「野菜の冷し汁」「豆乳寒天」などの調理実習も行いました。（野菜は煮たり、炒めたりすると、たくさん摂れますよ！）

さらに11月には町の生活展において、「サツとシステム」を使って食事診断（主食・副菜・主菜が揃った食事）と、手軽に野菜を摂取できる健康メニューを紹介しました。

このような機会を通して、住民の皆さんの「健康保持・増進」に役立てていただければ幸いです。